



北海道国有林におけるエゾシカ対策



北海道森林管理局

平成25年6月24日



I エゾシカ被害の実態把握

エゾシカが天然林へ与える影響を把握するために全道規模での実態調査を進めており、樹皮剥ぎによる樹木の枯死などといった被害が北海道東部地域で深刻化するとともに全道的に拡大していることが明らかになりました。

このことから、平成25年度は、網走南部、根釧東部の知床半島基部で詳細な調査を実施する予定です。



- 天然林に与える影響を詳細に把握するために、これまでに全道で320箇所(うち65カ所は知床)のモニタリングプロットを設置してきました。
- また、上記調査を補完するため、森林管理署のほとんどの森林官が平成22年度からの3年間で12,541箇所にする簡易調査を実施しており、平成24年度は全ての森林官が調査を行いました。



樹木の樹皮食害 根釧東部森林管理署管内

Ⅱ 林道除雪による市町村等の支援

エゾシカ捕獲の効率性を上げるため、24シカ年度(注)は、市町村が行う有害鳥獣駆除等対象地、市町村や自衛隊との連携捕獲事業地及び一部一般可猟区域の林道について除雪を行いました。

注:シカ年度とは、6月から翌年の5月までを言います。

林道除雪の実績



樹皮を食害するオスのエゾシカ

網走南部森林管理署管内

区 分	平成21シカ年度	平成22シカ年度	平成23シカ年度	平成24シカ年度
実行署数	1署	11署	16署	17署
関係市町村数	1市	22市町村	36市町村	37市町村
実距離数	64km	543km	787km	785km
延べ除雪距離	64km	1031km	1743km	2254km
捕獲実績	367頭	1023頭	4712頭	6813頭
予算額	6百万円	30百万円	60百万円	62百万円

注:捕獲実績には、Ⅲ関係機関の協力によるエゾシカ捕獲事業とⅣ一斉駆除によるものも含まれます。

Ⅲ 関係機関の協力によるエゾシカ捕獲事業

平成24年度は、関係機関との連携により、以下の事業を実施しました。

- ① 白糠町(地元猟友会)、陸上自衛隊、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境科学研究センター、北海道森林管理局(根釧西部署)と連携により捕獲事業を実施。北海道森林管理局では、事業地までの除雪を実施し、3日間の短期間で113頭(オス47/メス66)の捕獲に貢献。
今年度は、根釧西部署で昨年と同様に捕獲事業を実施。
- ② 釧路市(釧路市農業農村経営生産推進会議)、北海道、北海道森林管理局(根釧西部署)の3者連携で無償のボラティアハンターを募集し、捕獲事業を実施。北海道森林管理局では、フィールドの提供や除雪の実施により、3月期に375頭の効率的な捕獲に貢献。

Ⅳ 一斉駆除期間の設定

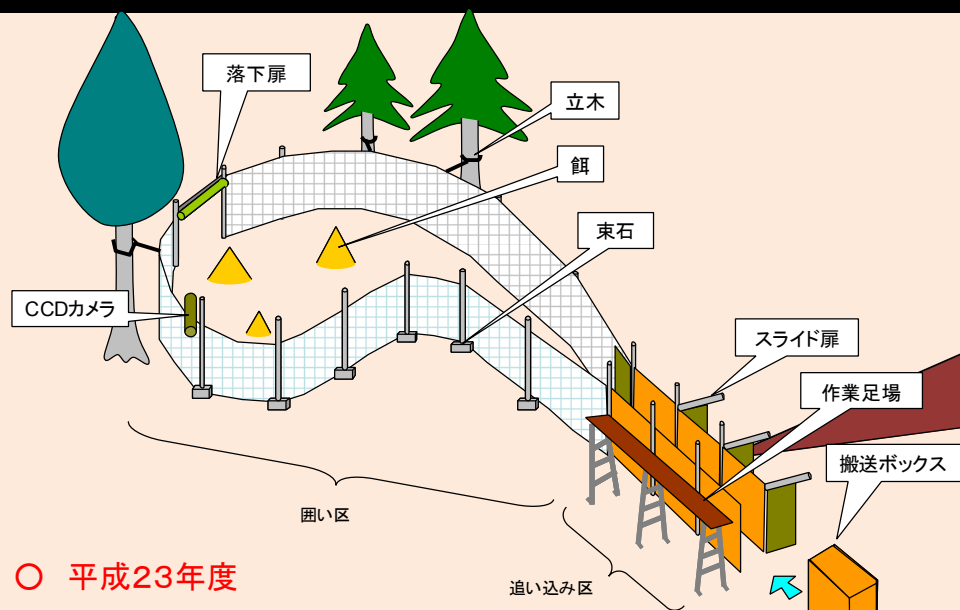
平成24年度は道と連携し、平成25年3月に「エゾシカ一斉捕獲推進月間」を設定し、市町村、国有林、道等で連携して被害対策として「エゾシカ一斉駆除」に取り組み全道で702頭を駆除。

国有林内での実施予定市町村

地区	市町村数	実施予定市町村
道央地区	0	
道北地区	0	
オホーツク地区	4	滝上町、北見市、置戸町、佐呂間町
道東地区	2	釧路市、白糠町
道南地区	1	島牧村

V 捕獲事業の実施

エゾシカを生体捕獲する技術の確立と食肉として有効に活用するシステムの構築に資するため、平成21年度から主に銃を使えない場所等において「囲いワナ・くくりワナ」による捕獲事業を実施しています。



○ 平成23年度

囲いワナ: 根釧東部署(羅臼町)96頭
 根釧西部署(釧路市阿寒町)8頭
 東大雪支署(新得町)67頭 } ……171頭捕獲

くくりワナ: 十勝東部署(足寄町、陸別町) ……17頭捕獲

● 平成24年度(3月31日現在)

囲いワナ: 根釧東部署(羅臼町)56頭
 根釧西部署(阿寒町)42頭
 東大雪支署(新得町)55頭 } ……153頭捕獲

くくりワナ: 十勝東部署(足寄町) …… 31頭捕獲



VI 請負事業者のエゾシカ被害対策への参画推進

造林事業及び素材生産事業に関する一般競争入札に係る総合評価落札方式でエゾシカ対策の貢献度を評価

国有林に係る多くの者が地方公共団体等が実施するエゾシカ対策に直接参画することを促進し、その成果を一層上げるため、今年度から森林整備事業の入札に係る総合評価落札方式の評価項目の「地域への貢献」にエゾシカ被害対策の貢献を加え、発注事業の入札において評価しています。

1 適用される事業請負事業者のエゾシカ被害対策への参画を促進

造林事業及び素材生産事業

2 ボランティア活動の実績の有無(評価基準の追加)

ア) 評価項目と評価基準

評価項目		評価基準
加算項目	地域への貢献 ボランティア活動の実績の有無	入札公告日より前の過去2年間にシカ被害対策に貢献した実績があること

イ) 評価の対象

請負者(企業等)が地方公共団体等が行うシカの捕獲等被害対策に協力した実績を評価するものです。

ウ) 具体的な例

- ・ハンター等が通行する林道等の除雪
- ・勢子や安全対策として見張り
- ・放置されている残滓の処理
- ・物資等運搬に必要な車両を無償で提供 など



ボランティア活動による除雪作業

○実績状況(H24年4月からH25年4月末までの実績)

事業名	総合評価件数	ボランティア実績(申請数)		貢献内容
		事業体数	物件数	
造林	62	7	7	・除雪 ・残滓処理 ・シカ柵の支柱やネットの補修
素材生産	126	8	19	
計	188	15	26	

今後、本制度の趣旨等が一層浸透することにより事業者によるエゾシカ対策の参画実績が増加することを期待。

VII エゾシカ狩猟者の利便性向上

○ 入林承認申請の利便性の向上

一回の申請で全道国有林への入林が可能となる「全道一括入林承認の為の合同説明会」を全道6箇所(H23年度は帯広・釧路の2箇所)で実施

会場別申請者数						(最終)
札幌市	旭川市	北見市	八雲町	帯広市	釧路市	計(人)
1,188	354	372	82	713	555	3,264

※国有林からの呼びかけにより道有林も札幌・釧路の説明会に参画



札幌会場

○ 入林禁止区域図の凡例統一

凡例統一でより見易い図面を作成

全道24森林管理(支)署において、入林禁止区域図の凡例を統一

○ 入林禁止区域図の公開

北海道森林管理局HPへの公開

